

全職員がやりがいを感じる温かい職場を目指した人事制度改定

京都信用金庫（本店：京都市下京区、理事長：榊田 隆之）は、創立100周年の記念すべき年に、他企業に先駆けて65歳定年制を導入します。時代の潮流の変化に伴う「暮らし方に合わせた働き方」として、職員を大切に、若手職員から経験豊かなシニア世代を含めた全職員が、「仕事の喜び・やりがい」を感じながらモチベーション高く活躍し、安心して働ける温かい職場づくりを目指します。

また、政府が各企業に対して、物価高騰や人手不足を背景に賃上げの協力を呼びかける中、昨年度、当金庫は他企業に先駆け、指導職・一般職の若手職員を対象として基本給与の引き上げを実施しました。今年度、創立100周年を迎えるにあたり、単なる「働きやすさ」だけではなく「働きがい」を感じながら、イキイキと働くことができる職場環境を目指し、全職員を対象に基本給与を平均3.8%引き上げ、職員が安心して働ける環境を整えます。

記

1. 65歳定年制導入について

- (1) 導入日：2023年4月1日
- (2) 対象者：全職員（非正規職員含む）

2. 給与制度の改定について

(1) 2023年度

- 賃上げ率：平均3.8%（定期昇給含む） ※2年連続賃上げ率：平均約7%
- 対象者：全職員（非正規職員含む）
- 初任給：226,000円（大卒）

(2) 2022年度

- 賃上げ率：平均3.7%（定期昇給含む）
- 対象者：職員（指導職・一般職の若手職員）
- 初任給：221,000円（大卒）

以上

全職員がやりがいを感じる温かい職場を目指した人事制度改定

65歳定年制の導入

京都信用金庫は、創立100周年の記念すべき年に65歳定年制を導入します。

時代の潮流の変化に伴う「暮らし方に合わせた働き方」として、職員を大切に、若手職員から経験豊かなシニア世代を含めた全職員が、「仕事の喜び・やりがい」を感じながらモチベーション高く活躍し、安心して働ける温かい職場づくりを目指します。

給与制度の改定

昨年度に続き、今年度は全職員を対象に基本給与の引き上げを行います。

(新入職員・非正規職員含む)

政府が各企業に対して、物価高騰や人手不足を背景に賃上げの協力を呼びかける中、昨年度、当金庫は他企業に先駆け、指導職・一般職の若手職員を対象として基本給与の引き上げを実施しました。

今年度、創立100周年を迎えるにあたり、単なる「働きやすさ」だけではなく「働きがい」を感じながら、イキイキと働くことができる職場環境を目指し、全職員を対象に基本給与を平均3.8%引き上げ、職員が安心して働ける環境を整えます。